

インプリントまちだ展2020

インドネシアの新星

アグン
「AGUGN」来る!

すむひと

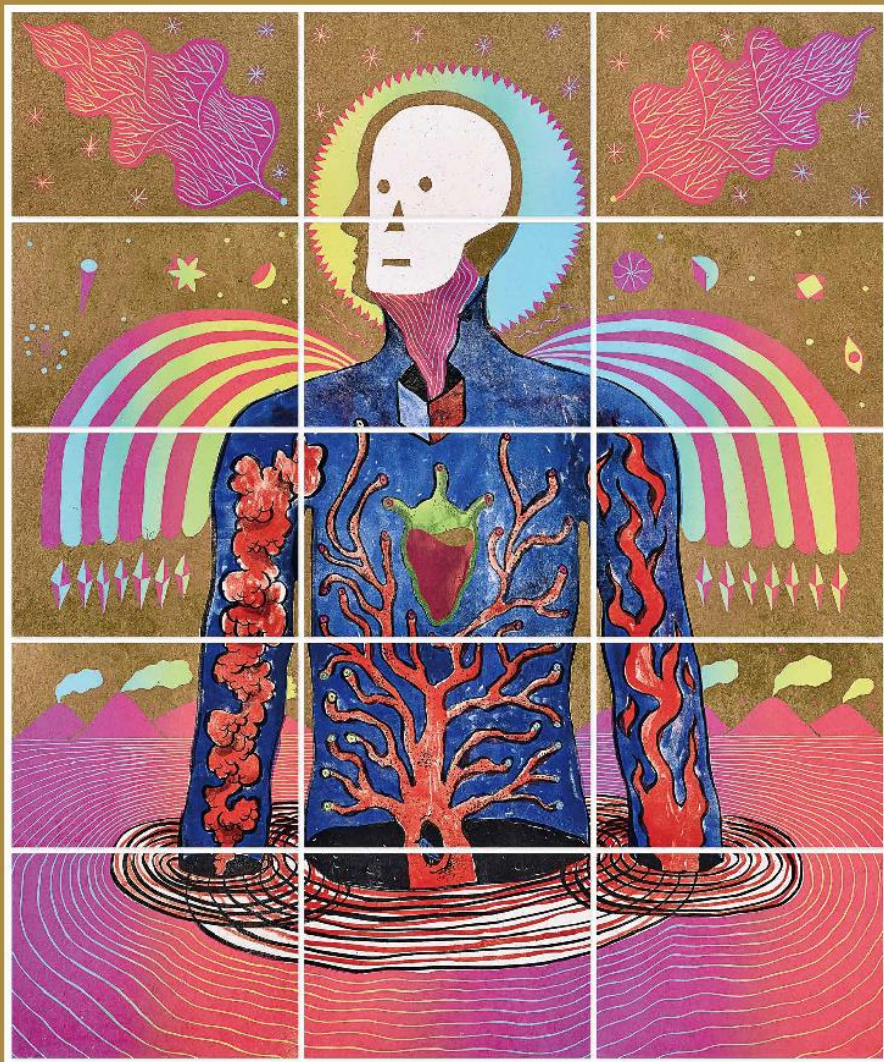


くるひと

—「アーティスト」が
みた町田—



“Imprint” MACHIDA 2020 from Stranger to Neighbor: Machida seen from the “artists”



アグン・プラボウォ(Agung Pradipta) リノカット彫り込み技法、手製の再生紙、2016年、作家蔵

2020

4/1_[土] - 6/28_[日]

休館日=月曜日、5月7日(木)※ただし、5月4日(月・祝)は開館。

開館時間=平日 午前10時~午後5時 土日祝 午前10時~午後5時30分※入場は開館30分前まで

観覧料=一般900(700)円、高校・大学生450(350)円、中学生以下は無料 * ()内は20名以上の団体料金。

*身体障がい者手帳、愛の手帳(療育手帳)または精神障がい者保健福祉手帳をご提示の方と付き添いの方1名は半額です。*4月11日(展覧会初日)、4月19日(開館記念日)は入場無料です。

*4月22日(水)、5月27日(水)、6月24日(水)のシアターは、66歳以上の方は無料です。

*「パティック割引」「ウェブクーポン割引」ほか各種割引があります(詳細は当館HPに掲載)。

主催=町田市立国際版画美術館、東京新聞

後援=インドネシア大使館 協力=ガルーダ・インドネシア航空、FC町田ゼルビア

助成=一般財団法人地域創造

町田市立国際版画美術館

Machida City Museum of Graphic Arts

東京都町田市津田町4-28-1 Tel. 042-726-2771/0860 お問い合わせ=町田市役所文化振興課 042-722-3111 <http://hanga-museum.jp/>



東京新聞



「インプリントまちだ展」は2017年からはじまった、版画を軸に制作する若手作家が町田に取材した新作を発表する展覧会シリーズです。最終年となる2020年は、インドネシアから注目のアーティスト、アグン・プラボウォを招きます。

インプリントまちだ展ファイナル！ 「くるひと」と「すむひと」が つくりあげた町田のかたちとは？



インプリントまちだ展は、東京オリンピック・パラリンピック大会に向けて2017年から当館が開催してきたシリーズ展です。その集大成となる本展では、「すむひと」＝町田在住のアーティストと市民、「くるひと」＝当館が招いたアーティストたちの作品をあわせて展示します。

さらに、シリーズのフィナーレにふさわしいゲストとして、町田市がホストタウンを務めるインドネシアから新進気鋭のアーティスト、アグン・プラボウォを招き、町田の市街地に取材した新作を発表します。

みどころ その1

新進気鋭のインドネシア人若手アーティスト アグン・プラボウォの作品を本邦初公開！

東京オリンピック・パラリンピックで町田市がホストタウンを務めるインドネシアから本展のために来日。現代アートが盛り上がっているインドネシアでも注目のアーティストです。これまでの画業をたどる代表作とあわせて、町田の市街地に取材した新作を発表します。

みどころ その2

若手作家を招へいする展覧会シリーズ 「インプリントまちだ展」の集大成！

2017年にサッカーJ2・FC町田ゼルビアを取材したながさわたかひろ、2018年に町田の養蚕の記憶に着想を得た荒木珠奈、そして2019年に伐採予定だった一本の木を版木にした田中彰。2017-2019年の招へい作家3名の作品が一堂に会します。

みどころ その3

版画や出版物に“刻まれた”町 「まちだ」をめぐるネバーエンディングストーリー

1960年代から大規模な宅地・団地開発をきっかけに発達した町田。本展の前半では、若林奮、飯田善國、赤瀬川原平ら町田に住んだアーティストの作品と、ミニコミ誌やフリーペーパーなどの自主出版物を展示し、町田を「住む町」に育てようとした文化の一端をご紹介します。

「インプリントまちだ展」とは？

この展覧会シリーズでは、版画を制作の軸とする若手作家を毎年招へいし、町田に取材した新作を発表してきました。アーティストの目線で町田の多様な姿を後世に残し、展覧会に関わった多くの人々の心に刻まれることを目指します。

アグン・プラボウォ Agung Prabowo "Agugn",

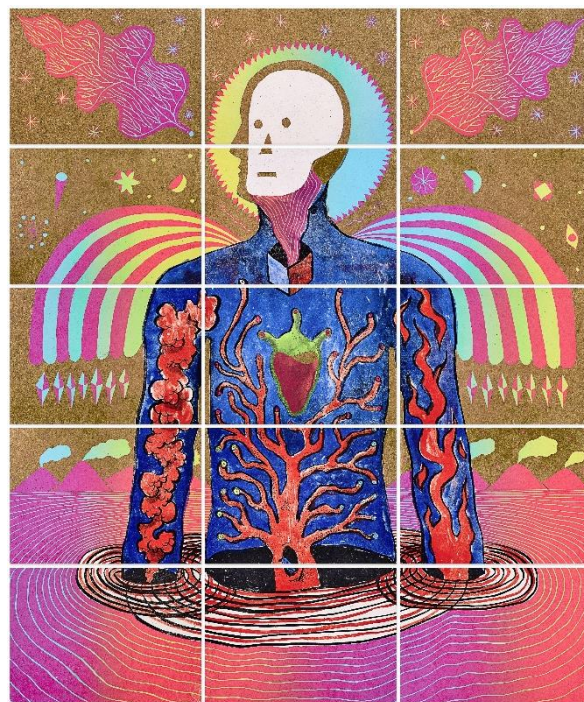
1985年生まれ

インドネシア・バンドン出身、バリ島ウブド在住。バンドン工科大学芸術デザイン学部芸術学科版画コースに学ぶ。リノカット(版材としてリノリウムを使用した版画)による独創的な作品が国際的に高く評価されている。Facebookジャカルタオフィスの壁画も手がける。インプリントまちだ展2020に向けて、町田の市街地を取材した新作を制作します！

 @agugn

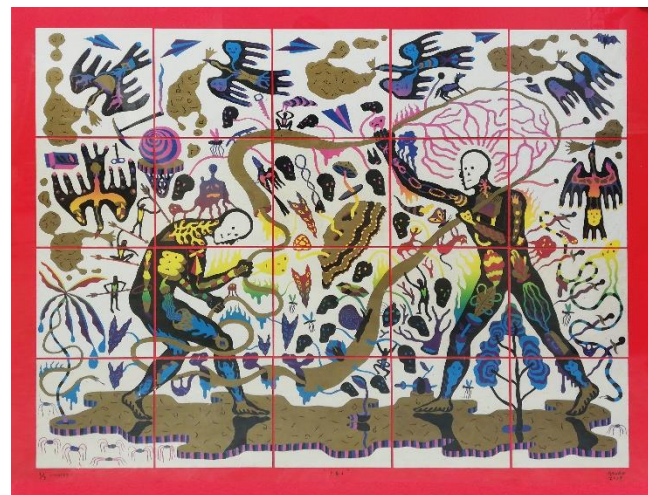


最初期の作品から2020年の最新作まで約70点の作品を、本展で日本初公開します。たった一枚の版を彫り進めて制作されるリノカットの多色刷り版画は必見です。展示室の最後には、180枚もの版画を組み合わせた町田をテーマとする3部作も展示されます。



②

①



展示室内にはインスタレーションも出現！！



④

①アグン・プラボウォ《私と私》リノカット、2019年、作家蔵 ②アグン・プラボウォ《chillax #1》オフセット・リトグラフ、リノカット、2016年、作家蔵 ③アグン・プラボウォ《デジタル・メモリー》インスタレーション、2019年、作家蔵 ④アグン・プラボウォ《運命の門》リノカット、2019年、作家蔵

「すむひと」と「くるひと」がみた町田



⑤ 田中彰
2019年招へい
テーマ「自然」



⑥ 荒木珠奈
2018年招へい、テーマ「記憶」

アゲン・プラボウオ
2020年招へい
テーマ「都市」



くるひと



⑦ ながさわたかひろ
2017年招へい、テーマ「スポーツ」

本展に向けて
現在制作中！



すむひと

⑧ フリーペーパー
2013年創刊、こどもの国駅
周辺エンタメマガジン『国マガ』



⑩ 若林奮
1936年町田市生まれ



⑨ 赤瀬川原平
1984年から町田市に居住

⑤田中彰+来館者共同制作《町田芹ヶ谷えごのき縁起絵巻》（部分）木版（芹ヶ谷公園のエゴノキ）、2019年、作家蔵、撮影：平林岳志 ⑥ 荒木珠奈《たまゆ・k》エッチング、2018年、作家蔵 ⑦ながさわたかひろ『FC町田ゼルビアを描く！2019年』より《40節vsレノファ山口（2019年11月10日）》ペン、色鉛筆、2019年、作家蔵 ⑧ こどもの国駅周辺エンタメマガジン『国マガ』（国マガ編集部、2013年に創刊し続刊中） ⑨ 赤瀬川原平《風のレコード》オフセット、凸版、1988年、町田市立国際版画美術館 ⑩若林奮 銅版画集『境川』より《境川 V》エッチング、1991年、町田市立国際版画美術館

関連イベント

① アーティスト トーク

4月12日(日) アグン・プラボウォ(通訳付き、60分程度)

5月31日(日) 田中彰 (30分程度)

6月 6日(土) ながさわたかひろ

＊館内でのギャラリートーク後、作家が描いた町田

仲見世商店街を訪問します(合計60分程度)

6月28日(日) 荒木珠奈 (30分程度)

2017年から2020年までの「インプリントまちだ展」の招へい作家4名が、町田取材して制作した作品についてお話しします。

※各14:00～

※観覧券をご用意のうえ、2階企画展示室1入口にお集まりください



①アグン・プラボウォ《アンラヴェル 3》
リノカット、2019年、作家蔵

② 町田・フリーペーパー・ギャザリング

5月23日(土)14:00～

出演:ガゼッタ・デロ・マチダ編集部・国マガ編集部・玉川つばめ通信編集室・らぶふぁみ

町田市内、近隣でフリーペーパーを制作する4組が集まり、それぞれの活動内容についてお話しします。

これからフリーペーパーを作りたい人、必見！

※観覧券をご用意のうえ、2階企画展示室1入口にお集まりください

③ 担当学芸員によるギャラリートーク

4月18日(土)、6月20日(土)

※各14:00～ (30分程度)

※観覧券をご用意のうえ、2階企画展示室1入口にお集まりください

④ 公開セミナー

Reduction Print (彫り進み版画) の作り方を見てみよう！

4月11日(土)13:00～15:30

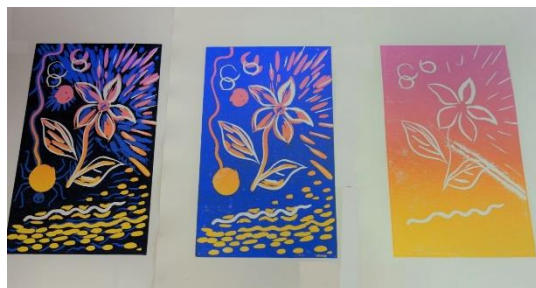
会場:市民展示室

アグン・プラボウォ指導の実技講座を大公開！

受講生が彫り進み版画をつくる様子をご覧ください。

※申込不要・入退室自由 ※無料

※通訳付き ※実技講座の募集期間は終了しました



⑤ ポップアップ・スクリーン工房

4月12日(日) 11:00～12:30、13:30～16:00

会場:町田市立国際版画美術館

アグン・プラボウォのイラスト作品をスクリーンプリントでTシャツに刷ります。

自分で刷ったTシャツを着て、街を歩きませんか？

※参加有料 ※詳細はホームページをご覧ください



展覧会概要

- 展覧会名 インプリントまちだ展2020 すむひと⇄くるひと —「アーティスト」がみた町田—
“Imprint” MACHIDA 2020 From Stranger to Neighbor: Machida seen from the “artists”
- 会期 2020年4月11日(土)～ 6月28日(日)
- 休館日 月曜日、5月7日(木) ＊ただし、5月4日(月・祝)は開館
- 開館時間 平日 10:00～17:00 土日祝 10:00～17:30 (入場は30分前まで)
町田市立国際版画美術館 企画展示室1・2
- 会場 一般＝900(700)円、高校・大学生＝450(350)円、中学生以下は無料
- 観覧料 ＊()内は20名以上の団体料金 ＊身体障がい者手帳、愛の手帳(療育手帳)
または精神障がい者保健福祉手帳をご提示の方と付き添いの方1名は半額です
＊4月11日(土)の展覧会初日と4月19日(水)の開館記念日は入場無料です
＊4月22日(水)、5月27日(水)、6月24日(水)はシルバーデー、65歳以上の方は入場無料です
＊「バティック割引」「リピーター割引」ほか各種割引があります(詳細は当館HPに掲載)
- 主催 町田市立国際版画美術館、東京新聞
- 助成 一般財団法人地域創造
- 後援 インドネシア大使館
- 協力 ガルーダ・インドネシア航空、FC町田ゼルビア

その他イベント

■文化プログラム特別イベント | インドネシアフェア

5月16日(土)、17日(日)

インドネシアの伝統舞踊やガムランのコンサート、ポップアップショップをお楽しみいただけます。

詳細は後日当館HPに掲載します。

■連携イベント | まちだ〇ごと大作戦「杜のるつぼう～奏でる、描く、舞い踊る～」野外コンサート

5月4日(月・祝)

主催 NPO法人子ども広場あそべこどもたち

場所 当館ロビー、芹ヶ谷公園、せりがや冒険遊び場 お問合せ 岡本 090-7819-5965

インドネシアの楽器リンディックの演奏などお楽しみいただけます。詳細はせりがや冒険遊び場HPをご覧ください。

内覧会のご案内

一般公開に先立ち、下記のとおり内覧会を開催いたします。ご多用とは存じますが、
ぜひご出席賜りますようご案内申し上げます。報道関係の皆様のご出席をお待ちしております。

日時:4月10日(金) 15:00～17:00

お問い合わせ先

町田市立国際版画美術館 (〒194-0013 町田市原町田4-28-1)

展覧会担当/町村悠香(まちむら はるか) 広報担当/高野詩織(たかの しおり)

電話 042-726-0860/2771 FAX 042-726-2840

メール bunspo040@city.machida.tokyo.jp

 @machida_hanbi

 @machida_hanbi

公式HP <http://hanga-museum.jp/>

※広報用に本プレスリリース掲載の画像データ、およびプレゼント用招待券を用意しております。

ご利用いただける際は、広報担当・高野までメール(件名に【インプリント広報】を明記)か電話にてご連絡ください。

※ご希望の画像番号1～11をお知らせください。

同時開催 棟方志功「二菩薩釈迦十大弟子」と仏教版画 4月4日(土)～6月28日(日) 常設展示室 入場無料

